

「みんながささえあう福祉のまちづくり」をめざして

少子高齢社会や核家族化がすすみ地域のつながりが求められるなか、当協議会は、平成6年3月に市民参加による福祉のまちづくり活動計画「ふれあい府中21プラン」を策定しました。

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」、「誰もが住みつづけられるまちづくり」、「誰もが参加するまちづくり」を目標にすべての市民が健康で明るく安心して生活できる府中の実現にむけ、計画の推進役として「まちづくり推進委員会」を設置し、事業を展開してまいりました。

平成7年1月には阪神淡路大震災が発生し、地域でのたすけあい・ささえあい活動があらためて注目され、この活動を広めていこうという機運がより一層高まりました。

こうしたことから当協議会では、ふれあい府中21プランの一つの計画である「市民の助け合い活動の推進」を主な柱として、平成9年度から地域ごとに呼びかけ、小地域懇談会を開催するなど、子どもや高齢者の見守り、虐待やいじめの問題、防災、防犯の問題などに取り組んでまいりました。

しかし、これらの課題や社会状況の変化などの福祉課題に対応するには、新たな計画が必要になったことから、このたび第2次地域福祉活動計画を策定いたしました。

今後は、この計画の内容を一人ひとりの市民、活動団体、商店・企業・事業所、福祉・保健・教育施設、行政、社会福祉協議会等それぞれが協働し「みんながささえあう福祉のまちづくり」の実現にむけて計画を推進してまいりたいと思います。

結びに、この計画の策定にあたり、地域福祉活動計画策定委員会委員をはじめ、まちづくり推進委員会委員、アンケート調査にご協力いただいた関係者並びに市民の皆さまのご協力に、心より感謝申しあげます。

平成21年3月

社会福祉法人
府中市社会福祉協議会
会長 大津 貞夫